

岡田昌己スペイン舞踊50周年記念公演

FANTASIA FANTASIA FLAMENCO

MASAMY OKADA PRESENTA CONCIERTO FLAMENCO VOL.30

常に進化を続ける岡田。本記念公演ではチャイコフスキ「バイオリン協奏曲」に挑む！

第30回 岡田昌己スペインを踊る

2013年
2/2 土
 17:30 開場 18:00 開演
2/3 日
 14:30 開場 15:00 開演
東京芸術劇場
 プレイハウス(中ホール)池袋駅西1徒歩2分
 A席10,000円/B席7,000円/C席5,000円
 主催: エストウディオ・マドリッド
 後援: スペイン大使館
 財団法人日本スペイン協会
 セルバンテス文化センター
 日本フラメンコ協会



踊り続けて50年、岡田昌己の限りなき挑戦 チャイコフスキー、ラヴェルをスペイン舞踊とフラメンコで上演

スペイン舞踊を踊りたい…。その一念で、スペインへと旅立った20歳の頃の岡田昌己。道なき道を天賦の才と不屈のチャレンジ精神で切り開き、プロフェッショナルなダンサーとしてスペインの一流舞踊団で20年にもわたり活躍。このようなキャリアは、今なお岡田をおいて他にいない。活動拠点を日本に移してからは今日に至るまで精力的に公演活動を展開。30回を数える公演シリーズ「岡田昌己スペインを踊る」では、スペイン舞踊の2つの柱といえるフラメンコとクラシコ・エスパニョールの可能性を追求しその魅力を広めてきた。斬新なアイデアと創意に溢れた数々の作品を発表している。中でも「スペイン交響曲」などクラシコの新作は、岡田ならではの仕事だ。最近では上演される機会の少ないクラシコに光を当て続ける岡田の功績は極めて大きい。数年前、ダンサーの命綱のひとつである膝を痛め、一時は引退も危ぶまれたが、変わらぬ不屈の精神でこれを克服。見事な復活を遂げた。岡田は今年、スペイン舞踊を踊り初めて50年になる。その記念すべき今回の公演に彼女が選んだテーマは、バレエ音楽の本丸とも言うべきチャイコフスキー(バイオリン協奏曲)とラヴェル(ボレロ・エン・フラメンコ)。1部では、チャイコフスキーの「バイオリン協奏曲」を中心にした華麗なクラシコの世界を、2部ではスペインから来日するゲストダンサーとともに深淵なるフラメンコの世界が踊られる。今なお新たな挑戦を続ける岡田。果たして今度はどんな世界を描き出してくれるのか? こちらも目が離せない。

フラメンコ・シティオ主宰 西脇美絵子



▲バイレ ダヴィ・コリア



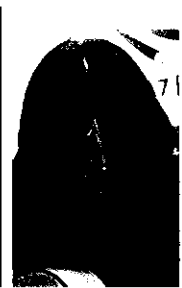
▲バイレ ジョナタン・ミロ



▲カンテ
ダヴィ・ラゴス



▲カンテ
インマ・リヴェロ



▲ギター
フアニ・デ・ライスラ



▲ギター
高橋紀博



▲パーカッション
海沼正利



▲バイオリン
平松加奈



▲フルート
坂上領



▲ダンスミストレス
小久保句子

▼バイレ 岡田昌己スペイン舞踊団



林順子 清水登美 鶴見陽子 小野木美奈 吉本良子 都築麻紀 滝沢佳良 鈴木美香 永田健 小林アントニオ 小林富美子 田中ルミ 成内令 小野陸美

2013年 2/2 日 17:30 開場 18:00 開演

2/3 日 14:30 開場 15:00 開演

東京芸術劇場

プレイハウス(中ホール) 通夜駅西1徒歩2分

A席10,000円/B席7,000円/C席5,000円

●お問合せ・お申込み

(株)インターミュージック・トーキョウ 03-3475-6870

東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード424-156)

エストゥディオ・マドリッド

E-mail: info@estudio-madrid.com

●STAFF 構成・演出・振付・選曲: 岡田昌己

振付・アドバイザー: オスカル・ヒメネス

美術: 朝倉棋

照明: 井上正美 音響: 山本直

舞台監督: 香坂ナナ ステージ補佐: 須賀知恵子

衣裳: ソニア・ジョーンズ、マキコスチューム

写真: 池上直哉、TES プログラム編集: 西脇美絵子

宣伝美術: 栗原奈穂、STUDIO F1

マネージメント: (株)インターミュージック・トーキョウ

企画・制作: (有)エストゥディオ・マドリッド